

# Grow up Children, Strong and Healthy!

Village Doctors in China

1987  
作品ナンバー0274

[中国の村の医者]

文部省選定

中国では、総人口が現在10億を超えさらに増加が予想されることから、1970年代から計画的に人口の抑制をし、乳幼児の健康の質的向上を図っている。いわゆる「一人っ子政策」で、今日顕著な成果を挙げている。遡ると、1949年に新中国が誕生した当時、医療を受けられない農民のために、全国の農村に予防衛生と医療の初歩的訓練を受けた農民出身の村の医者が生まれた。当時は「はだしの医者」と呼ばれ、現在その数は中国全土で125万人を超えるといわれている。映画は村の医者として活躍する女性の張さんを中心に、村の衛生教育、母子保健、子育ての教育、出産、家族計画の推進など、村人たちの生活全般にわたって指導をしている実情を紹介し、中国における村の医者の重要性を説く。



北京から南へ500キロ、山東省の泰安市近くに住む張（チョウ）さんたちは、村人の生活全般にわたって健康相談と初歩的な治療をする「村の医者」である。435戸1868人の村の衛生室には、4人の医者通っている。衛生室の主任であり、一般診療を受け持つ熊（ショウ）さん。薬局で薬を作り漢方の治療もする王（オウ）さん。その奥にある母子保健室には張さんが、隣の家族計画室では村の婦人会の委員にも選ばれている劉（リュウ）さんが働いている。

張さんは仕事が一段落すると、午前中、村の家庭訪問をする。農民出身の張さんは、医者というより近所のおばさんのように親しまれ何かと相談を受ける。張さんが村の医者を志した20年前、村の産婆は古い技術でお産を介助し、妊婦は出産についての新しい知識が与えられず、生まれる子供も危険にさらされ、その死亡率は高かった。現在、張さんたちと村の人々の努力で、保健の状況は見違えるように改善されている。

記録

16ミリ

カラー／33分

英・西・中・ネパール・ベンガル・日本語版

- 企画  
(財)家族計画国際協力財団

スタッフ

- 製作  
村山英治
- 脚本・演出  
山下秀雄
- 撮影  
北川英雄
- 音楽  
杉田一夫
- 編集  
沼崎梅子
- 解説  
河内桃子  
富田浩太郎